

# 林業技術に関する 解説書を作成しました

県林業技術センターでは、最新の研究成果や既存技術をわかりやすくまとめた新技術解説シリーズなどの冊子を発刊しています。

今回は、近年、恒常化している春先の天候不順を克服し、安定した収量の確保と品質の良いシイタケを生産するための栽培技術に関する解説書2冊、被害木の駆除のみでは、なかなか、なくならない松くい虫被害の総合的な防除に関する解説書1冊を作成したので、お知らせします。

### ◆「乾シイタケ生産のてびき」

(平成21年12月15日発刊、

A4縦型、45頁、カラー)

これまで発刊されていた「シイタケ栽培ハンドブック(昭和53年発刊、B6版、146ページ)」をリニューアルし、栽培のポイントとなる部分を中心に、写真を多く用いて、わかりやすく解説しました。

既存技術の確認、若い後継者や新規参入者の身近な参考書として最適です。

### ◆「原木シイタケ栽培のための人工ホダ場利用のてびき」

(平成22年3月発刊予定、

A4縦型、24頁、カラー)

作業の負担軽減や集約管理、生産量の増加を目的として導入されている「人工ホダ場」について、①施設のタイプとその構造、設置方法、②多く導入されている平型とハウス型の人工ホダ場の利点及び管理方法、③県内の主な利用事例などを解説しました。

これらの解説書を、乾シイタケの増産に役立てていただければ幸いです。

### ◆「新技術解説シリーズ21 山そうじの手引き」

(平成22年3月発刊予定、

B5横型、18頁、カラー)

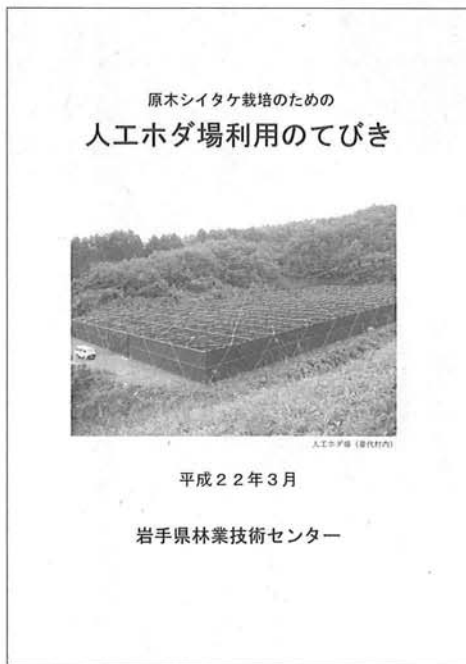
これまで、松くい虫防除の多くは、「被害木の駆除」が中心でした。しかし、今回の「山そうじ」法は、被害木の駆除に加えて、将来繁殖原となる恐れのある被圧木、気象被災木などを一体的に処理する方法です。「被害木の駆除」から「予防対策」に至る「山そうじ」を進めるうえでのポイントと考え方を多くのカラー写真と図で、わかりやすく解説しています。

なお、これら冊子の問い合わせは、林業技術センター(普及班)までお願いいたします。



平成21年12月

岩手県林業技術センター



原木シイタケ栽培のための

人工ホダ場利用のてびき

平成22年3月

岩手県林業技術センター



新技術解説シリーズ 21

山そうじの手引き

「山そうじ」とは  
2 「山そうじ」作業までのフロー  
(1) 被害木の調査  
(2) 被害木の伐倒  
(3) 被害木の運搬  
(4) 被害木の処理  
(5) 被害木の残材の処理  
(6) 被害木の残材の再利用  
(7) 被害木の残材の処分  
(8) 被害木の残材の埋蔵  
(9) 被害木の残材の焼却  
(10) 被害木の残材の堆肥化  
(11) 被害木の残材の炭化  
(12) 被害木の残材の灰化  
(13) 被害木の残材の灰化  
(14) 被害木の残材の灰化  
(15) 被害木の残材の灰化  
(16) 被害木の残材の灰化  
(17) 被害木の残材の灰化  
(18) 被害木の残材の灰化  
(19) 被害木の残材の灰化  
(20) 被害木の残材の灰化